



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相
場
概
況

10日

週末にトランプ米大統領がメキシコに対する関税発動を無期限で延期すると述べたことを背景に週明けのオセアニア市場でドル円は上に窓を開けてスタート。欧州序盤には一時108.72円まで値を上げた。ただ、NY時間に入り、トランプ米大統領が中国への関税発動を示唆したほか、「ニューヨーク市マンハッタンの高層ビルの屋上にヘリコプターが衝突」との報道も売りにつながり、一時108.32円まで下押しした。

11日

中国政府がインフラ投資の資金調達を支援する方針を示したことで上海株を中心にアジア株が堅調に推移したため、ドル円は買いが強まった。米長期金利の上昇も支えとなり、NY序盤には一時108.80円まで値を上げた。ただ、上昇して始まったダウ平均が一転下げに転じると108.40円台まで伸び悩んだ。

12日

ドル円は米長期金利の低下などを手掛かりに欧州勢が売りで参入すると、一時108.22円まで値を下げた。もっとも、米金利低下が一服すると108円台半ばまで切り返すなど方向感はなかった。

13日

香港でのデモ激化を嫌気して香港ハンセン指数が大幅に下落して始まると一気にリスクオフの動きとなり、ドル円は108.17円まで下げ足を速めた。その後は株価の持ち直しとともに108.54円まで反発したものの、米長期金利が低下したため上値も重かった。

14日

軟調な5月中国鉱工業生産を受けてドル円は108.16円まで下押ししたが、5月米小売売上高がコア指数とともに前値が大幅に上方修正されたことを好感して買い戻しが優勢に。全般ドル高が進んだ流れに沿って108.59円まで切り返した。

総括

先週のドル円はもみ合い。メキシコに対する米関税発動の無期限延期を受けて週明けは買われて始まり、一時108.80円まで値を上げた。ただ、米長期金利の低下や香港デモを嫌気した香港株の下落でリスクオフの動きにもなり、108.10円台まで下押し。一方、おおむね良好だった米小売売上高の結果で週末には108円台半ばまで戻して取引を終了した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
10日	17:30	月	GBP	GDP	前月比	4月	-0.1%		-0.1%	-0.4%
11日	21:30	火	USD	PPI	前月比	5月	0.2%		0.1%	0.1%
12日	17:15	水	EUR	ドラギECB総裁講演	*	*	*	*	*	*
12日	21:30	水	USD	CPI	前月比	5月	0.3%		0.1%	0.1%
13日	10:30	木	AUD	新規雇用者数	*	5月	2.84万人		1.75万人	4.23万人
13日	16:30	木	CHF	SNB政策金利	*	*	-0.75%		-0.75%	-0.75%
14日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	5月	-0.2%	0.3%	0.6%	0.5%

一言コメント・・・5月米CPIが予想を下回ると、米長期金利の低下とともにドル売りが先行しましたが、反応は一時的でした。週末に発表された5月米小売売上高は「まずまず堅調な内容だった」と受け止められドル買いが優勢となりました。

先週の注目された要人発言

10日20:00 トランプ米大統領「もしメキシコが合意事項を破った場合、制裁関税は復活する」「FRBの行動は破壊的だ」
 11日05:47 トランプ米大統領「ユーロなどの通貨がドルに対して下落し、米国は大きな不利益を被っている」「米国の政策金利は高過ぎるほか、馬鹿げた量的引き締めも加わった」
 13日01:29 トランプ米大統領「中国と合意できると期待」「合意しなければ3250億ドル相当の中国製品に追加関税を課す」「(ロシアからバルト海経由で天然ガスを直接ドイツに送るパイプライン)ノルド・ストリーム2阻止のための制裁を検討」
 13日01:45 安倍晋三首相「(中東情勢について)武力衝突は避ける必要」「イランが引き続き核合意を順守することを期待」「緊張緩和に向け日本としてできる限りの役割を果たしたい」
 13日16:45 経産省「ホルムズ海峡付近で日本関係の積み荷を積んだ船2隻が攻撃を受けた」
 13日18:43 独政府報道官「トランプ米大統領によるノルド・ストリーム2(ロシアからバルト海経由で天然ガスを直接ドイツに送るパイプライン)に対する警告には、注意を払う」「ドイツ政府のノルド・ストリーム2に対するスタンスは変更ない」
 13日22:40 クガニャゴSARB総裁「低下傾向のインフレは低金利を維持することを意味する」「弱い経済状況を鑑みると、今後一年程度に渡り利下げの余地があるかもしれない」
 14日03:21 ポンペオ米國務長官「オマーン湾のタンカー攻撃、イランに責任と判断」

一言コメント・・・先週の相場もトランプ米大統領の発言に振られる展開となりました。また、日イラン首脳会談直後にホルムズ海峡付近で石油タンカーが攻撃されたことで原油先物価格が急騰。米政府はこれを「イランの責任」と断定しましたが、イラン側は真っ向から反論しました。中東情勢が緊迫するとの警戒感が強まっています。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
18日	10:30	火	AUD	RBA議事要旨	*	*	*	*	*
18日	21:30	火	USD	住宅着工件数	年率換算	5月	123.5万件		123.7万件
19日	27:00	水	USD	FOMC政策金利	*	*	2.25-2.50%		2.25-2.50%
19日	27:30	水	USD	FRB議長定例会見	*	*	*	*	*
20日	未定	木	JPY	日銀政策金利	*	*	-0.10%		-0.10%
20日	15:30	木	JPY	日銀総裁定例会見	*	*	*	*	*
20日	20:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.75%		0.75%

今週の注目は・・・FOMC

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。